

名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」整備基本計画 ~~（案）~~

《現状の問題点》

- 1 人工物、植栽等が滝の風致景観を阻害している。
- 2 「白糸ノ滝」の持つ本質的価値について、広報・情報提供が十分行われていない。
- 3 災害による橋梁・護岸の欠損、法面崩壊など危険箇所が多いこと、歩車の輻輳、施設・展望箇所の点在など来訪者の快適性に配慮されていない。

《整備理念》

「白糸ノ滝」の価値を次世代に継承するため、現在の名勝としての風致景観及び天然記念物としての地形・地質を適切に維持管理するとともに、指定当時に比して潜在した価値の顕在化や回復、望ましい風致景観への改善等、適切な保存管理を行う。

そのため、現状の問題点を踏まえ、風致景観の向上、本質的価値の共有、安全性・快適性の向上の3つを基本理念として位置づけ、整備方針を立てるものとする。

《整備方針》

「名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」第二次保存管理計画」に基づき、以下の方針により、必要最小限の整備を行うものとする。

- 風致景観の向上
滝の眺望を阻害する人工物等の撤去を行うとともに、滝の眺望視界に入る護岸、展望場等については、本質的価値が享受できる風致景観の整備を行う。
- 本質的価値の共有
本質的価値について、市民や来訪者の間に広く広報・情報提供を行い、富士山の文化を学ぶ場、育む場として活用する。
- 安全性、快適性の向上
橋の架け替えや車両の進入制限等により、来訪者の安全性・快適性を確保する。
また、回遊性を持った歩経路、展望場、休憩場の整備、案内サインの設置など来訪者にとって快適な整備を行う。

《整備計画》

- A 人工物（売店3件、倉庫1件、落石防止柵）の撤去【風致景観】
- B 周辺に調和した河川環境の整備【風致景観、安全性】
- C 橋梁整備【風致景観、安全性】
- D 展望場の整備【風致景観、快適性】
- E 階段整備【安全性、快適性】
- F 案内サインの整備【風致景観、本質的価値、快適性】
- G 回遊性を持った歩経路整備【安全性、快適性】
- H 生態系（植栽、土砂の撤去）の保全、復元【風致景観、本質的価値】
- I 便益施設の整備（ガイダンス施設、公衆トイレ、公園、休憩場、売店ゾーン）【本質的価値、快適性】
- J 電柱・電線の撤去等【風致景観】
- K 車両と歩行者の分離【安全性、快適性】

※ 事業内容は、今後の設計段階で変更が生じる場合があります。

問い合わせ先：富士宮市教育委員会富士山文化課世界遺産推進室
TEL 0544-22-1489 FAX 0544-22-1242

名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」 整備基本計画（概要版）



趣旨

昭和11年に、国の名勝及び天然記念物として指定された「白糸ノ滝」は、世界文化遺産登録を目指す「富士山」の構成資産に選定されたことを受け、国指定文化財としての本質的価値を後世に継承していくとともに、その価値にふさわしい環境整備を行うべく、関係機関による検討が重ねられてまいりました。

こうした中、「白糸ノ滝」第二次保存管理計画の策定やその後の地震、台風等の自然災害の発生という状況変化が生じたことから、これらの影響を反映した検討を加え、整備方針等をまとめた整備基本計画を策定いたしました。

本計画の策定に当たっては、国（文化庁）及び静岡県の指導のもと、名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」整備基本計画策定委員会を設置し、各方面の権威である委員の皆様との審議を経てとりまとめたものであり、今後、計画に基づく整備の具現化に取り組んでまいります。

名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」整備基本計画 策定委員

氏名	職名	分野
天野 光一	日本大学理工学部教授	景観工学
池邊 このみ	千葉大学大学院教授	景観論 環境計画
佐野 貴司	国立科学博物館研究主幹	地質学 岩石・鉱物・鉱床学
関 文夫	日本大学理工学部教授	土木工学
土 隆一	静岡大学名誉教授 富士山世界文化遺産静岡県学術委員会委員	地質学・地下水
渡井 正二	富士宮市文化財保護審議会委員 富士宮市世界遺産関連学術調査指導員	近世史・民俗
渡邊 定元	元東京大学教授 森林環境研究所長	生態・環境

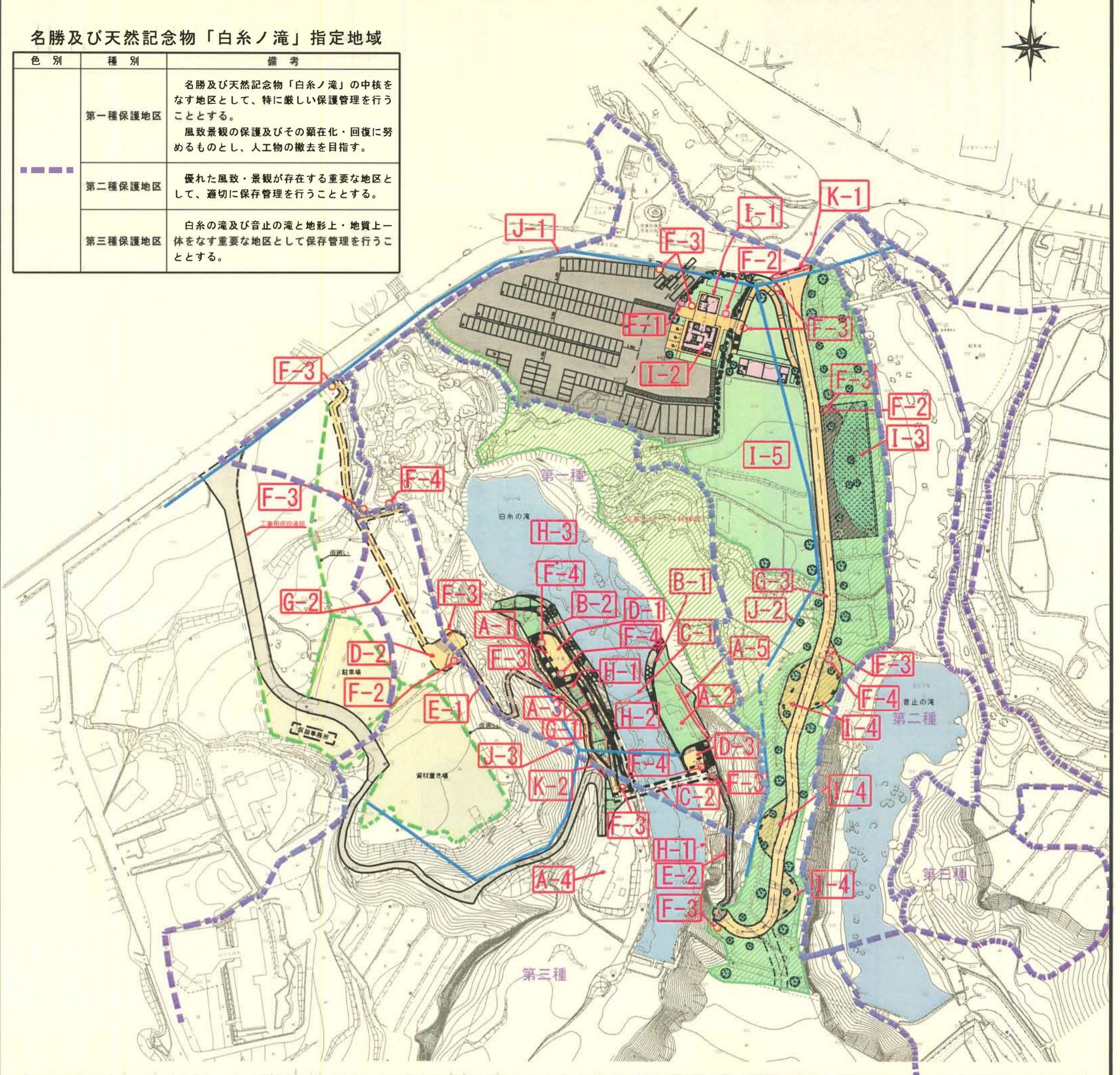
※ 五十音順

富士宮市教育委員会富士山文化課世界遺産推進室

「白糸ノ滝」整備基本計画に基づく整備計画図

名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」指定地域

色別	種別	備考
—	第一種保護地区	名勝及び天然記念物「白糸ノ滝」の中核をなす地区として、特に厳しい保護管理を行うこととする。 風致景観の保護及びその顕在化・回復に努めるものとし、人工物の撤去を目指す。
	第二種保護地区	優れた風致・景観が存在する重要な地区として、適切に保存管理を行うこととする。
	第三種保護地区	白糸の滝及び音止の滝と地形上・地質上一体をなす重要な地区として保存管理を行うこととする。



種別	記号	備考	理念
A	A-1	売店	風致景観
	A-2	売店	
	A-3	売店	
	A-4	倉庫	
	A-5	落石防止柵	
B	B-1	左岸	風致景観 安全性
	B-2	右岸	
C	C-1	現橋梁(滝見橋)撤去	風致景観 安全性
	C-2	新橋梁整備	
D	D-1	右岸側下部	風致景観 快適性
	D-2	右岸側上部	
	D-3	左岸側下部	
E	E-1	右岸側	安全性 快適性
	E-2	左岸側	
F	F-1	周辺案内板	風致景観 本質的価値 快適性
	F-2	総合案内板	
	F-3	誘導板	
	F-4	説明板	

種別	記号	備考	理念
G	G-1	右岸側下部	安全性 快適性
	G-2	右岸側上部	
	G-3	左岸側上部	
H	H-1	植栽	風致景観 本質的価値
	H-2	土石・土砂	
	H-3	峡谷内の復元	
I	I-1	ガイダンス施設	本質的価値 快適性
	I-2	公衆トイレ	
	I-3	公園	
	I-4	休憩場	
	I-5	売店ゾーン	
J	J-1	県道沿い	風致景観
	J-2	歩経路沿い	
	J-3	滝壺周辺	
K	K-1	車止め等	安全性 快適性
	K-2	車止め等	

